

新 町内8つの小中学校で入学式 新たな出会い～始まりの1ページ

4月10日に町内の3中学校で、11日に5小学校で入学式が行われました。中学生202人(赤池中79、金田中69、方城中54)、小学生202人(上野小14、市場小62、金田小73、伊方小44、弁城小9)が新たな仲間。在校生や先生、保護者に温かく見守られながら、一人ひとりの新しい学校生活がスタートしました。



↑「ハイッ!」。先生らの呼びかけに元気に応え、真剣な表情の弁城小の新入生。

↓4月から5人の新入部員を加え、次なる目標の全国大会出場を目指します。



大 鷹羽ボーイズが第16回西日本選抜優勝大会で優勝 大会最少13人の精鋭が悲願の頂点

硬式野球の鷹羽ボーイズが福岡市で3月17日から2日間行われた西日本選抜優勝大会で12年ぶり2度目の頂点に立ちました。九州・中国・四国から選抜16チームが集う大舞台で、緊張を感じさせない伸び伸びとしたプレーで4連勝。部員不足など苦しい時期を乗り越え、悲願のタイトルを手にしたチームは喜びをかみしめました。

企 トヨタスプリングフェスタ 2018 企業祭でご当地グルメと福智町をPR

トヨタ自動車九州(宮田工場内)で4月15日に開催されたスプリングフェスタで「方城すいとん」「大福おばちゃんのかしわおにぎり」「ふくち☆リッチジェラート」を販売し町をPRしました。約100杯分のすいとんは正午過ぎには完売。昨年からのリピーターも訪れるなど、福智名物として少しずつ認知度を上げています。



↑正午には方城すいとんを求めて福智ブースに長蛇の列をなす来場者の姿が。

↓マスタープランとも呼ばれ、10年間の総合的なまちづくりの指針となる計画書。



町 第2次福智町総合計画 の風景に彩られた計画書が完成

まちづくりの最上位計画に位置づけられる「第2次福智町総合計画」が策定され、3月に計画書が完成しました。A4サイズで88ページの計画書には、58点におよぶ水彩画イラストを配置。プロのイラストレーター・大嶋さち子さんが描いた福智町の風景により、内容がより身近に感じられる仕上がりになっています。

↓3月28日、青空に枝を広げ鮮やかに咲く虎尾桜。緋色が最も濃い満開を晴天で迎えるのは数年ぶり。



青 虎尾桜数年ぶり晴天時満開 空に際立つ一本桜の緋色

福智山の山合に咲く、県内最古のエドヒガン「虎尾桜」。3月末に満開を迎えた推定樹齢600年の巨桜を一目見ようと町内外から数千人以上が訪れました。今年は天候に恵まれ風雨による落花が少なく、例年より長い約1週間、見頃の状態を維持。満開を経て色が薄まる桜のピークを晴天の下で鑑賞できる貴重な機会に、美しい情景を写真に収める姿も多く見られました。

障 福智町障がい者福祉計画等策定 障がいに対する町の指針を再確認

町の障がい者福祉の計画がまとまり、3月28日に策定委員会が町長に答申しました。計画は3年ごとの見直しが法で定められており、今回で5期目。新たに障がい児に関する計画も追加され、洲上委員長は「近隣に誇れる良い計画。一つひとつの事業を確実に進めてほしい」と期待を込めて答申書を手渡しました。



↑有識者5人で構成される策定委員会が5回の会議を経て、洲上委員長⑥が答申。

↓地元の話題を枕に場の空気を和ませ、女性の嫉妬をテーマにした落語を披露。



噺 落語家・春風亭昇吾さん初帰郷 家として故郷・田川で凱旋公演

落語家の春風亭昇吾こと古野本義一さん(赤池)が3月23日に田川市の公演に登壇しました。笑点司会者の春風亭昇太師匠に弟子入り後、名付け親の林家たい平師匠の田川公演を機に落語家として初帰郷。身振りを交えた巧みな話術で会場を落語ならではの笑い引き込み、見守る周囲に成長した姿を披露しました。